

## ●「非常勤職員」だけの職場で、責任はだれが？

十六日におこなわれた「緊急要望書」回答説明会（以下「回答説明会」）において、来年四月スタートの公設公営学童保育指導員は、「非常勤一般職」として任用すると市が回答したことについて、私たちは主に次のように訴えました。

○学童保育指導員の仕事は、子どもの放課後の全生活を支えるもので、専門的な力量が求められる常勤的なものである。それを「非常勤職員」という身分にするのは問題である。

○非常勤職員を三名配置するとなっているが、常勤職員を一人も置かないで事業の責任が果たせるのか？

これに対し市側は『「非常勤職員」も市の職員であり、責任がある』『専門性のあるなしなく、勤務時間が問題だ』などと答弁しました。

「回答説明会」でも確認されましたが、現在「非常勤職員」だけが配置されている職場は、一カ所しかなく、圧倒的多数が「非常勤職員」は「常勤職員」の補助的な役割をになっています。

今回の市の計画では、「非常勤職員」だけで構成される学童保育（職場）が、一気に四〇カ所以上生まれることになりました。

常勤的な仕事を「非常勤職員」だけに任せるといふ点から、「公設公営化に向けた市の方針」は、学童保育にとどまらず、市役所のあり方にかかわるのではないのでしょうか。



## 子どもたちの生活に責任をもつ仕事をするうえで 学童保育指導員の身分・労働条件はこれでいいのでしょうか？

●まさか千葉県より低い水準に？  
千葉市も来年四月に学童保育事業が、船橋市と同じ「運営委員会委託事業」から、「社会福祉協議会委託事業」に移行されます。

指導員の身分は「社会福祉協議会・非常勤嘱託職員」と、きわめて不十分なものです。そして、労働条件は次のようになっています。

### ○報酬

月額二一九、〇〇〇円程度

通勤手当、

長休手当（夏休み等学校休業日に

勤務した場合）

期末手当三ヶ月

時間外勤務手当（長休手当以外）

健康保険、厚生年金保険、雇用保険、

労災保険

この条件で年収は二三〇〜二四〇万円程度と言われています。

前回のチラシでもお伝えしたように、船橋市公設公営の指導員の労働条件はまだ明らかになっていません。

「回答説明会」では、年収一八〇万円（非常勤職員）保育士の単価で試算）の指摘に対し、市は明確に否定しませんでした。

直営事業としておこなう船橋市が、もし千葉市の水準より低いとしたら、直接事業に責任を持つ市の姿勢が問われるということも、のです。



## 船橋市学童保育指導員労働組合

一九九九年十一月二十五日 十二号

## 私たちの待ち望んだ学童保育の公設公営化を目前にして やりきれない気持ちでいっぱいです。

これまで一生懸命、共働き・母子・父子家庭の子育て支援をしてきた現指導員に『競争試験』を適用、「一般公募で受験するように」というのです。

経験して体得した技能をペーパー試験などで計れるのでしょうか。また、試験に受からなかったものは、何年も生活を共に信頼してくれている父母や子供たちになんて言えばよいのでしょうか。

今まで関わってきた父母・子供たち・私たち指導員に対しての心のケア、また今後の指導員の生活のケアを市は考えているのでしょうか。

市には何の責任もないのでしょうか。 (50代 女性)

### 『経験が大切』

私が指導員になり、半年が経ちました。専門学校を卒業し、幼稚園教員の資格を持ってのぞんだ学童保育の仕事は、私の想像を上回る内容でした。

幼稚園教員の資格は無意味ではありませんが、子供たちとの生活は教科書には載っていないことばかりで戸惑うことが多く保育の仕方や父母との懇談、地域との交流など、様々な場面で先輩指導員のアドバイスを受けながら働いています。

「現場では経験が最も大切」と感じています。

先日行なわれた市の説明会で、私はそのことを気持ちを込めて訴えましたが、市からはっきりした回答が得られず、残念でなりません。 (20代 男性)

## もっと私たち指導員の声を聞いて欲しいです！！

「資格を有し専門性がある」と言いながら、「年収180万円は労働に対する対価だ」と言い切った市に驚きました！

年収180万円では生活するにも無理があります。私たち指導員も生活があるのです。熱意があっても労働条件が安定していないと働けないのです。

これから先も仕事を続けていきたい者としては、まだまだ納得のいかないことばかりです。

事業を円滑に移行するためにも、もっと私たちの声を聞いてほしいです！！ (20代 女性)

# 指導員の声

Part:2

## 学童保育指導員は片手間で出来る仕事ではありません！！

16日の回答の場で指導員の仕事を市は理解していないのだなと思いました。

公設公営化に向けて様々な動きのある中でも、子供たちとの生活は続いています。来年も働き続けることが出来るのか、どうか、わからない今、子供たちと過ごす毎日がとても貴重なものに思われます。

そんな毎日の子供たちとの生活を伝えあう中で、学童保育という場と指導員という仕事の大切さを改めて感じると同時に、「このままではいけない」という思いが込み上げてきます。このままではいけないのです！！ (20代 女性)

## 船橋市学童保育指導員労働組合

NO. 12 1999. 11. 25

11月16日 市は、船橋市学童保育連絡協議会が提出した「学童保育指導員の採用と労働条件に関する緊急要望書」に対する回答の説明を行ないました。父母・指導員89名が集まり、疑問・不安・思いを投げかけましたが、納得のいく回答が得られないまま、終わってしまいました。そこに参加した指導員の怒りの声です。